

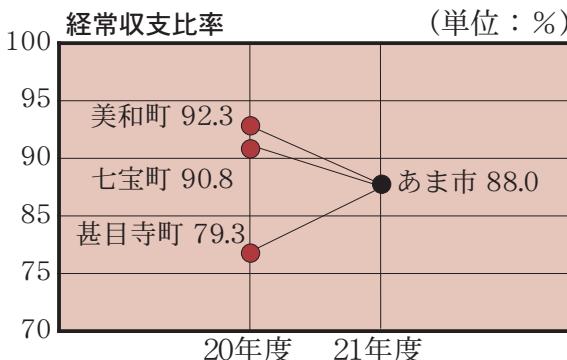
施策の成果を 予算の執行状況や 事業実施の適正など

(あま市七宝総合福祉センター)



慎重に狙いを定め、周囲も注目を集めているビリヤード。あま市の発展にも、慎重な施策のチェックをしていきたいのです

21年度決算は3町の打切り決算とあま市の10日間（22年3月22日から31日）決算という4本立ての変則的な決算となりました。3町打切り決算による黒字額（実質収支額）17億6037万円（七宝町：3758万円、美和町：8億6089万円、甚目寺町：8億6189万円）を市へ引き継いだ上で、差し引き15億8872万円の黒字になりました。翌年度に繰越すべき財源5607万円を差



年度の途中で3町が消滅し、1市誕生により、市誕生により、21年度決算は3町の打切り決算とあま市の10日間（22年3月22日から31日）決算という4本立ての変則的な決算となりました。

し引いた黒字額は15億3265万円です。また、左記の表は財政構造の弾力性を示す経常収支比率です。（関連質疑を5～7ページに掲載しています。）

市となり、現金を繰戻し 会併による特異なケース

歳

入は、町（市）税がいわゆるトヨタショックによる企業業績の悪化から法人・個人住民税が減収となつたものの、定額給付金など国から一過性の補助金が交付され、18億円ほど増加したものもあります。また、年度途中の合併の特異なケースとして、3町の決算剰余金（13億2307万円）をあま市歳入に組み入れた

ことと、打切り決算により赤字となつた特別会計は、歳入不足に対して一般会計の歳計現金を繰替運用することにより現金を確保し、その後、あま市になつてから現金を一般会計歳入に繰戻す処理（4億3730万円）をしたことが影響となり、諸収入は17億7968万円増えました。

歳

出の主な増因は、市役所などの銘板修繕や電算業務の統合など合併に伴う経費や定額給付金、地域活性化・経済対策臨時交付金など国の政策に伴う事業などによるものもあります。また3月21日までに旧3町で支払いが完了しなかつた未払い金は、21年度あま市予算に計上しました。3月22日以降にあま市予算で支出した、あま市21年度歳出決算額は、37億7043万円となりました。

9月定例会は、9月7日から29日までの23日間の会期で開かれました。本会議の2日目・3日目には、条例制定、平成21年度の旧3町の一般会計や特別会計、企業会計、あま市となつてからの各会計の決算、補正予算などを審議しました。それぞれ所管の常任委員会でも集中審査。審議した結果、提案された議案はすべて原案のとおり可決しました。

慎重にチェック！

財政の比率

基準下回り「健全」

平

成21年度決算の市財政の「健全化判断比率」と「資金不足比率」が報告されました。両比率は毎年、監査委員の審査に付した上で議会に報告することとされています。

健全化判断比率は次の表のとおりで、いざれも国が定めた基準を下回っています。

健全化判断比率

比 率 名	平成 21年度	早期健全化 基 準	比 率 の 内 容
実質赤字比率	赤字なし	12.77%	「一般会計等の実質赤字額」の標準財政規模(人口や面積などから算定する国が決める一般財源の規模)に対する比率
連 結 実 質 赤 字 比 率	赤字なし	17.77%	「公営企業会計を含む全会計の実質赤字額、資金不足額」の標準財政規模に対する比率
実 質 公 債 費 比 率	6.9%	25.0%	「一般会計等が負担する地方債（借入金）の元利償還金など」の標準財政規模に対する比率
将 来 負 担 比 率	23.2%	350.0%	「借入金や債務負担行為による支出予定額など将来的に支出することが見込まれる額から積立金などの充当可能財源を控除した額」の標準財政規模に対する比率

今

定例会では、一般会計と7つの特別会計に、総額で17億3494万円を追加する補正予算を可決しました。このうち、一般会計には11億6495

万円を追加し、予算総額を262億8730万円としました。歳入予算の主な内容は、国民健康保険特別会計はじめ6特別会計から前年度繰出金精算の確定に伴う繰入金2億8140万円及び前年度繰越金7億6004万円。市内の故人からは、5768万円の寄附金をいたしております。

歳出では、財政調整基金積立に8億3775万円、公共下水道基金積立に1億1022万円などとなっています。一方、特別会計には国民健康保険に1億6026万円、簡易水道に1905万円、市営住宅管理に380万円、老人保健に1394万円、介護保険に2億798万円、公共下水道に1億1527万円、後期高齢者医療に496万円をそれぞれ追加しました。（関連質疑を8、9ページに掲載しています。）

